

地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	宮城県気仙沼市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	気仙沼市における文化遺産を活用した復興まちづくり事業	【計画の改善時期】 平成 年度	
4 実施計画期間	平成 25 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>気仙沼市震災復興計画（平成23年度策定）を踏まえ、地域の文化遺産を次世代へ継承発展させ、震災復興まちづくりへ反映させるため、下記の取組を実施する。また、事業実施期間中は、下記の取組を効果的に推進するため、文化・観光等の関係団体、地域住民、大学等の専門家と連携し、地域全体で文化遺産を保存・継承し、活用していくための体制の確立を目指す。</p> <p>（平成31年度事業）</p> <p>①けせんぬま遺産情報発信事業 ②けせんぬま遺産ボランティアガイド養成講座 ③文化財公開の日事業 ④けせんぬま学講座 ⑤けせんぬま民俗芸能のつどい ⑥内湾地区（風待ち地区）の国登録有形文化財群の保存活用事業</p>			
6 実施体制			
<p>本実施計画に係る全体の企画・調整や、各事業に係る指導助言等は以下の担当課が行う。</p> <p>教育委員会教育部生涯学習課：各補助事業における文化財の取扱い等に関する指導・調整等 産業部観光課：観光業務に関する連携等</p> <p>また、補助事業は次の団体が実施する。</p> <p>気仙沼市文化遺産活用検討実行委員会（構成団体：気仙沼市、一般社団法人気仙沼観光コンベンション協会、一般社団法人気仙沼風待ち復興検討会、気仙沼市文化協会、煙雲館庭園文化保存会 ほか）</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 40,164 千円	平成31年度申請額： 5,272 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>○気仙沼市では、東日本大震災により多くの市民が被災するとともに、地域全体が甚大な被害を受けた。また、津波の被害を受けた沿岸部の文化財や民俗芸能などの貴重な文化遺産も大きな被害を受け、地域文化の活力の低下やコミュニティの停滞が懸念されている。</p> <p>○このような状況を踏まえ、平成23年度に策定した震災復興計画では、地域の貴重な文化遺産を保護・活用し、次世代に受け継ぐため、民間機関・団体等の支援や協力を得ながら、国・県等と連携し、被災した文化財の復旧等を推進するとともに、市民の心の支えとなる地域文化や民俗芸能を再興することが掲げられている。</p> <p>○震災復興計画を受け、震災を契機として文化遺産の持つ可能性を再発見し、文化遺産を通じて震災からの復興の過程を学ぶ機会を提供する取組を行うことで、市民の文化遺産に対する関心や意識が向上し、着実に文化遺産が継承発展することで、地域の活性化が期待できる。</p> <p>○行政と民間団体、観光や文化関連団体による連携・協力体制の強化を図ることにより、地域の文化遺産の保存活用体制が再構築される。</p> <p>○観光資源として文化遺産の活用を促進することにより、気仙沼市総合計画で目標（330万人/年）としている観光客の増加に寄与することを目指すとともに、地域創生戦略として推進する観光地経営（DMO）の一翼を担うことが期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
<p>本事業の実施により地域一体となって文化遺産の保存・活用を図る機運を醸成する必要性は強く認識している。震災復興の総まとめとして、平成30年度から地域の文化遺産の悉皆調査を行い、平成32年度を目途に歴史文化基本構想の策定を目指す。</p>			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	気仙沼市教育委員会教育部生涯学習課（文化振興係）		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産を活用した取組数（本事業の取組を除く）（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 1 :	市内で開催される文化遺産関連事業の取組数			関連事業:	①②③④⑤⑥	
目標値 1 :	【現状値】 平成 28 年度 5 事業 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 10 事業					
設定根拠 1 :	平成28年度開催事業数を基点とし、毎年度の取組数を1~2事業増と設定する。					
進捗状況 1 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
5 事業	6 事業	7 事業	事業	事業	事業	
0%	20%	40%				
目標区分 2 :	地域の文化資源を核としたコミュニティの再生・活性化					
評価指標区分 2 :	地域の文化遺産への来場者数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 2 :	市内の文化遺産, 文化財への来場者数			関連事業:	③⑥	
目標値 2 :	【現状値】 平成 28 年度 500 名 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 800 名					
設定根拠 2 :	平成28年度に来場者数500名に対し、毎年度0.5倍の来場者数を設定					
進捗状況 2 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
500 名	560 名	700 名	名	名	名	
0%	20%	67%				
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事等の保存会会員数、保存団体数（具体的な指標は次のとおり）					
具体的な指標 3 :	市内の民俗芸能保持団体の会員数			関連事業:	⑤	
目標値 3 :	【現状値】 平成 28 年度 800 名 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 800 名					
設定根拠 3 :	少子高齢化により伝承地域の人口減少が進んでいることから、現状維持を目標とする。					
進捗状況 3 :	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
800 名	800 名	800 名	名	名	名	
#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	けせんぬま遺産情報発信事業					実施団体：	気仙沼市文化遺産活用検討実行委員会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	市内に点在する有形・無形の文化財を束ね、次世代に受け継ぎ、地域の魅力を伝えるストーリーを「けせんぬま遺産」としてコンテンツ化し、観光資源として広く情報発信し、観光誘客や地域活性化を図る。市民のワークショップによって構成文化財やストーリーづくり、PRや保存活用策の検討を行い、その成果をリーフレットやメディアにまとめる。										
評価指標区分：	・補助事業終了後のパンフレット等コンテンツ増刷数（自主事業分）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	リーフレット、ビデオ等の増版数（自主事業分）										
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 0 部 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 3,000 部										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
部	部	部	部	部	部						
事業②：	けせんぬま遺産ボランティアガイド養成講座					実施団体：	気仙沼市文化遺産活用検討実行委員会				
事業区分：	人材育成					事業期間：	平成 31 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	「けせんぬま遺産」リーフレットを教材として活用し、市民や観光客に文化財を分かりやすく紹介するため、文化財に特化したボランティアガイドを育成するガイド養成講座を開催する。「文化財公開の日」や観光イベント等でガイドの実践を行い、スキルアップを図る。										
評価指標区分：	・ボランティアガイド育成講座修了者の後年度活動者数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	けせんぬま遺産ボランティア育成講座修了者の後年度活動者数										
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 0 名 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 50 名										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
名	名	名	名	名	名						
事業③：	文化財公開の日事業					実施団体：	気仙沼市文化遺産活用検討実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ~ 平成 32 年度				
事業概要：	文化財所有者や関係団体と協力し、日ごろは見ることができない市内の文化財を一般公開する。市民の文化財に対する興味関心を高めるため、期間中に「文化財公開の日」イベントを開催する。また、文化財ボランティアガイド育成事業のガイド実践の機会を確保する。										
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	文化財保護強調月間事業の関連事業取組団体数										
目標値：	【現状値】 平成 27 年度 3 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 10 団体										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
3 団体	4 団体	6 団体	団体	団体	団体						
0%	14%	43%									

事業④：	けせんぬま学講座	実施団体：	気仙沼市文化遺産活用検討実行委員会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	東日本大震災をきっかけとして、市民の歴史文化や過去の災害史などへの興味関心の高まりを受け、地域に密着したテーマを設定し、専門家を招へいた地元学講座を開講する。（講座回数は3回を予定）					
評価指標区分：	・その他			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	けせんぬま学講座受講修了者のうち、市内で開催される歴史や文化、まちづくりに関する各種講座やセミナーに参加している人数					
目標値：	【現状値】 平成 27 年度 20 名 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 40 名					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
20 名	22 名	30 名	名	名	名	
0%	10%	50%				
事業⑤：	けせんぬま民俗芸能のつどい	実施団体：	気仙沼市文化協会 ほか			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 28 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	地域の民俗芸能が一堂に会するフェスティバルで、保持団体の芸能の公开发表の機会確保及び後継者育成支援を目的とする。専門家によるトーク形式の解説や、出演団体や民俗芸能を紹介する解説パネルの展示により公演効果を高め、民俗芸能の普及啓発を図る。					
評価指標区分：	・フェスティバル出演団体の保存会会員数			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	民俗芸能のつどい出演団体の保存会会員数（※現状維持を指標とする）					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 120 名 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 120 名					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
120 名	120 名	100 名	名	名	名	
#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!				
事業⑥：	内湾地区（風待ち地区）の国登録有形文化財群の保存活用事業	実施団体：	一般社団法人気仙沼風待ち復興検討会			
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 27 年度 ～ 平成 32 年度			
事業概要：	震災で損壊し修復原事業が進められている内湾地区（風待ち地区）の国登録有形文化財の価値を再認識するとともに、観光資源としての活用を推進し、地域の活性化を図る。「風待ち復興ミュージアムプラン」をもとに所有者や地域住民と協力し、まち歩きイベント等を通して、風待ち地区の交流人口の拡大と賑わいの創出の促進を図る。					
評価指標区分：	・地域の文化遺産イベント等（本事業の取組を除く）におけるソーシャルキャピタル数（協賛企業・団体、賛同者等）			(具体的な指標は次のとおり)		
具体的な指標：	地区内外において本事業の協賛協力団体による、本事業に関連したイベント等の取組を開催した団体数					
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 3 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 8 団体					
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
3 団体	5 団体	6 団体	団体	団体	団体	
0%	40%	60%				

事業⑦：	ふるさとの民話のつどい					実施団体：	気仙沼市文化遺産活用検討実行委員会				
事業区分：	普及啓発					事業期間：	平成 26 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	地域に伝承されている民話を発掘し、その魅力や地域遺産としての民話の意義や価値を考え、市民の民話伝承活動の機運を高める。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	地域（公民館等）における民話を活かした自主活動取組数（講座、民話の会等の活動）										
目標値：	【現状値】 平成 26 年度 1 件 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 4 件										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
1 件	1 件	2 件	件	件	件						
0%	0%	33%									
事業⑧：	内湾地区（風待ち地区）の国登録有形文化財群の保存活用事業（案内リーフレット作成）					実施団体：	一般社団法人気仙沼風待ち復興検討会				
事業区分：	情報発信					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	内湾地区（風待ち地区）の歴史文化の魅力や文化財復原事業の取組が、復興・活性化の一助となっていることを市民や観光客に伝えるため、解説コンテンツとしての案内リーフレットを作成する。リーフレットの配布により、地区内の文化財を巡る観光客の流れを創出する。										
評価指標区分：	・その他					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	リーフレット配布が動機付けとなり、文化財を訪れた観光客等の人数										
目標値：	【現状値】 平成 29 年度 1,000 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 1,500 人										
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	1,000 人	1,200 人	人	人	人						
	0%	40%									